10月定例市長記者会見

物価高騰対策としての生活支援策について

国のいわゆる「重点支援地方交付金」を活用して、物価高騰の影響を受ける
市民の皆様や子育て世帯の負担軽減を図るため、給付事業を順次実施

① 市民生活応援給付事業（商品券（JCBギフトカード）の配布）

商品券を受け取っていない方へ勧奨通知を発送しました。
１１月３０日までに連絡を！

配布状況

対象世帯数	配布世帯数	配布率
218,248世帯	214,188世帯	98.14%
対象人数	配布人数	配布率
451,916人	447,535人	99.03%

※10月9日現在

問合せ先

市民生活応援給付事業実施本部
℡ 084-928-1148　受付8:30～17:15（土・日曜日、祝日を除く。）

② 子育て世帯生活支援給付金の支給開始！

本市初！
コンビニ受取！

住民税非課税世帯等の子育て世帯に、児童１人当たり1万円を給付

対象者

次の全てに該当する世帯

・8月1日時点で福山市に住民票がある
・2008年（平成20年）4月2日～2027年（令和9年）3月31日生まれの児童を養育する
・世帯全員の住民税 が 非課税 または 均等割のみ課税

通知方法

10月23日から世帯主宛てに、受け取りに必要な情報を記載した通知書を発送

受取方法

本人確認：LINE（オンライン） からマイナンバーカード（電子署名）で認証
※身分証明書等をオンライン添付も可

受け取り：セブン銀行ATMで受け取り：**当日または翌日以降**
※身分証明書等をオンライン添付した場合、審査に約2週間かかります。
審査結果はLINEで通知します。



ATM受取

問合せ先

子育て世帯生活支援給付金（物価高騰対策分）事業コールセンター （10月21日開設）
TEL084－928－1234　受付8:30～17:15（土・日曜日、祝日を除く。）

福山市立大学の新棟（情報棟）整備のための財源確保について

○新棟整備に係る寄附の状況

法人において寄附獲得に取り組んできたが、
目標額達成は極めて困難となった。

＜目標額＞　10億円
- みらい共創基金：9億円
- 企業版ふるさと納税：1億円

＜現　状＞　約1億円
- みらい共創基金：約7千万円
- 企業版ふるさと納税：約3千万円

↓

補正予算対応を検討（12月市議会）

※新棟建設工事
2027年（令和9年）2月　施工完了予定



新棟（情報棟）　外観イメージ

新学部の概要

学部名称：情報工学部情報工学科
入学定員：80人
開設年度：2027年度（令和9年度）

福山市半導体産業クラスター推進会議

○目的・役割

国が策定した半導体戦略クラスター計画を契機とし、本市の強みである半導体関連産業の競争力を強化することで、所得向上や経済の好循環をめざす。

国や県、企業、関係機関等による会議を立ち上げ、本市の半導体産業クラスター推進の方向性を議論する。

○第１回会議

日　時：10月30日（金）13：30～15：00
場　所：福山市役所 本庁舎3階 中会議室
参加者：中国経済産業局、広島県商工労働局、福山市 他
内　容：国・県の取組の共有
　　今後の議論の重点テーマについて　など

福山市半導体産業クラスター推進会議

○会議イメージ

全体会議　重点テーマや今後の方向性を議論

テーマ別会議

成長促進

競争力やサプライチェーンの強化

・民間投資促進
　設備投資、技術開発、新規参入 等
・取引・裾野拡大
　企業間連携、技術マッチング 等

投資環境整備

企業誘致や民間投資を呼び込むインフラ整備

・産業用地、オフィス、道路・物流等の関連インフラ、規制緩和 等

人材育成

企業ニーズにマッチした人材育成・確保

・大学等と連携した高度人材や理系人材の確保・育成 等

１１月以降、テーマ別会議や関連企業ヒアリング・調査を行い、
３月の全体会議で今後の本市の半導体産業クラスター推進の方向性を示す

親善友好都市マウイ郡への訪問について

（1）概　要

目　的：　・２０２３年（令和５年）８月にマウイ郡にて発生した
大規模火災の被災地視察及び義援金の活用や復興状況の確認
・「マウイ郡フェア」のパレード・ステージにおいて親善友好をＰＲ
・新たな教育交流に向けた提案　など

期　間：　９月２７日（日）～１０月３日（土）

参加者：　行政訪問団
市長、随行職員２名（内１名は通訳）

費　用：　３６５.２万円
（市長１５２.２万円、随行職員２１３万円）





親善友好都市宣言
2008年(平成20年)5月17日締結

（2）行程

現地時間	日本時間	行事等
9／27(日)		・出国
9／28(月)	9／29(火)	・在ホノルル日本国総領事館　長徳 英晶 総領事から現地事情説明
9／29(火)	9／30(水)	・2023年(令和5年)マウイ島の大規模火災で被害を受けた ラハイナ地区の復興状況視察 ・マウイ郡庁にてリチャード・ティー・ビッセン郡長を表敬訪問
9／30(水)	10／1(木)	・ニセイ・ベテランズ・メモリアル・センターを訪問(文化・教育交流について) ・ハワイ大学マウイ校を訪問(教育交流について)
10／1(木)	10／2(金)	・マウイ郡姉妹都市財団　ステファニー・オオヒガシ氏に面会(今後の親善交流のあり方について) ・マウイ郡フェアのパレードに参加・ステージ挨拶
10／2(金)	10／3(土)	・早朝、皆さんの見送りを受けてマウイ郡を出発
10／3(土)		・帰国

（3）成果と今後の親善友好都市との交流について

マウイ郡訪問の成果

今後の交流への「道筋」の明確化

具体的には、

- 来年のばら祭では、マウイ郡と文化・教育分野の交流を活発化するための**協定※を締結することを確認**した。
  ※マウイ郡、マウイ郡姉妹都市財団、ニセイ・ベテランズ・メモリアル・センターの役割分担を具体的に明記する。
- ニセイ・ベテランズ・メモリアル・センターから**文化、教育に関する覚書締結案の提示**があった。今後、交流の具体化に向けた協議を進める。
- **市立福山高等学校とマウイ現地校との交流**について、今後、地元の州議員ハシモト氏を窓口に具体化に向けた協議を進める。

今後の親善友好都市との交流

①活発な交流を継続する

・ハミルトン市・タクロバン市とは相互訪問の可能性を探る。
・ただし、マウイ郡・浦項市への訪問は隔年を基本とする。

②交流の成果を実感してもらう

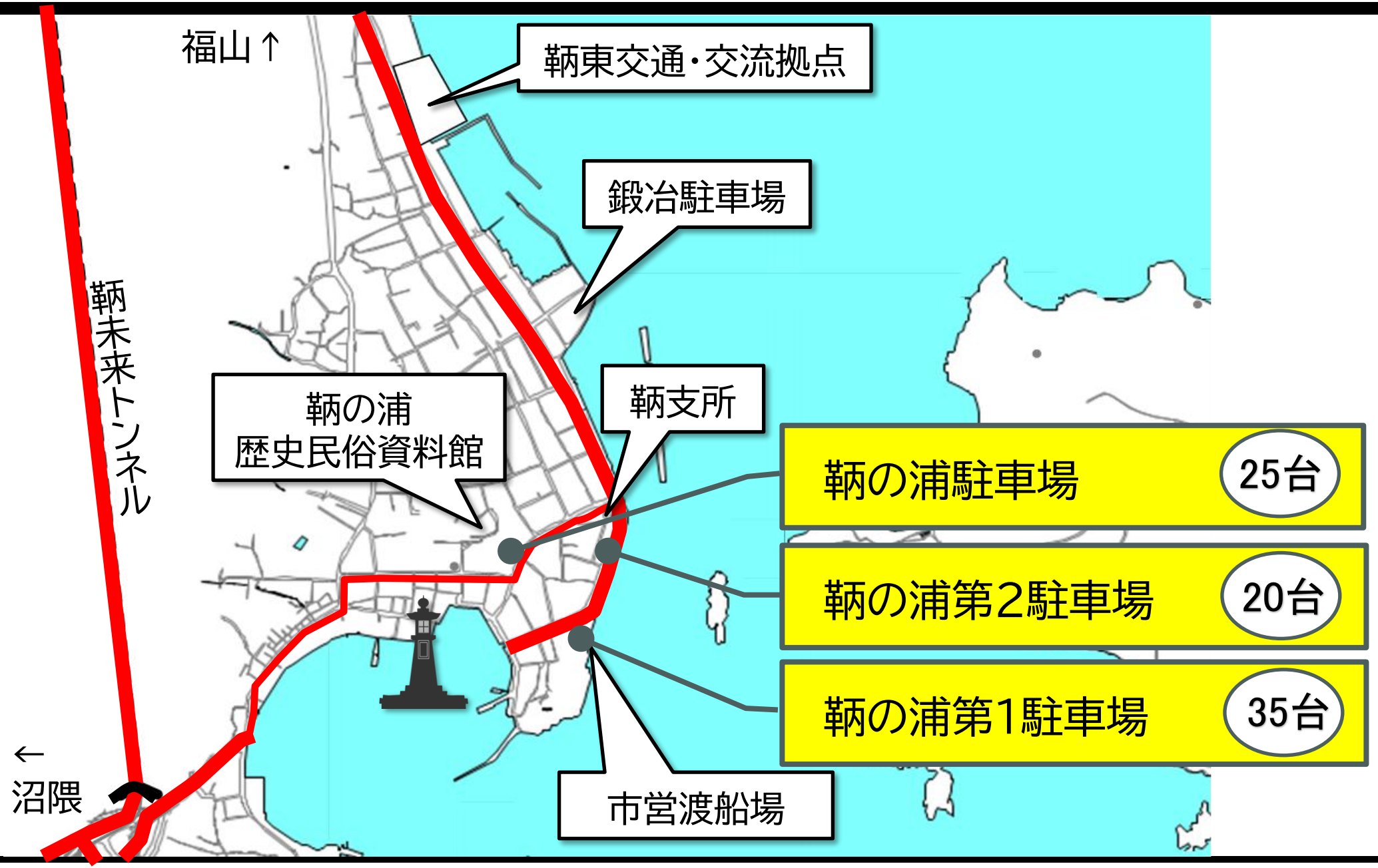
・改めて、市民と一緒になった交流をめざす。
（市民訪問団の同行など）

③経費の節減に努める

・今後も見積合わせを前提としつつ、より一層競争性を高めるとともに入札導入による効果を研究していく。
・引き続き、行政訪問団の人数・期間は必要最小限に留める。　　など

10月定例市長記者会見

鞆の町なかの公営駐車場



鞆東交通・交流拠点施設から鞆の町なかへの「歩道整備」



歩道整備 約L=510m

歩道整備済区間

鍛冶駐車場

港湾施設管理道 約L=130m

市道

②

県道福山鞆線（歩道拡幅予定区間 約 L=380m）

広島銀行鞆支店

鞆東交通・交流拠点施設

安国寺下バス停

①

